5861
2144
v.1
no.2

大正十年三月十三日印刷
大正十年三月十五日發行
（毎月一回）第一巻第二號

CAHIERS IDEALISTES DES JEUNES

種蒔く人

自分は農夫のなかの農夫だ。
自分の綱領は勞働である。
——ミレー——

第二號

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三インターナショナルと議會政略

小牧

國際共産主義（即ち第三インターナショナル）第一回大會は戰爭社會主義又は日和見社會主義の假面を覆ふた第二インターナショナルの根本的誤謬を全世界に曝露し、共産主義の眞髓を明かにしたこの第一回大會に集つた團体は比較的不備な小グループであつて、その傾向に於ても勢ひ不統一であつた。然し次に開かれた第二回大會に到るまでの十五箇月間は實に共産主義の宣傳及煽動の活動時代であつて、その間計らずもあらゆる点に於て原則の不統一を發見しその根本的解決の必要を認めた。而してその解決を促進したのが昨年七月の第三インターナショナル第二回大會であつて、サンヂカリズムの問題、國家政策及殖民政策の解決第三インターナショナル加盟條件、議會政畧などがその議案の重なるものであつた。吾人は次ぎに第三インターナショナルと議會政策の研究を明瞭にしやう。

議會政策の趨勢は國によつて一樣ではない。即ち獨逸共産黨は左右兩派の分離を見、伊太利に於ては反議會政畧主義の傾向を見、英國に於ても同樣分裂の徵候著るしく、米國のI・W・Wの態度も亦同樣の境地にあるために、共産主義第三インターナショナルは之に對し根本的な態度を決定しなければならぬことになつた。

今之等分裂の諸相の色合を大別すれば次の如くなる。

一　サンヂカリストの分子にして政黨の必要及び一般に政治的行動を認めざるもの

二　サウエット制度に同意し、革命の過渡時代に於て議會政策を革命的煽動利用策とするもの

三　サウエット制度に同意し議會政畧を選擧ボイコット策となすもの

等で更らに第三を分別すれば、

イ、サンヂカリスト傾向のもの

ロ、マルクス主義傾向のもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ハ、機會主義傾向のものがある。

第三インターナショナル第二回大會に於て執行委員會會長ジノヴイエフは議會政畧に關する質問に對し、『吾人は議會利用策を認める者である』と明かに答へた。が、彼は議會制度を認めるとは言つてゐない。唯それの利用を是認するのみであつて、寧ろ議會制度そのもの、打破を叫ぶものである。

『サウエットの實權は現存の議會と相容れるものではない。その理由はブルジョア階級の集中力を代表するものであるからである。代議士、議會、彼等の新聞、彼等の腐敗政策、議員と財閥との結托、その他ブルジョア國家のあらゆる機關は一つとして勞働階級全般を虐げる連鎖でないものがない。故に、之は當然打破せねばならぬ。ブルジョア階級の機關たるブルジョア議會を根本的に粉碎しその崩壞の上に勞働階級の新權力、勞働議會、即ちサウエットを擁立しなければならぬのであつて、平和手段により、議會改良策を以て社會の改造を欺罔せんとする徒輩はその實憎む可き勞働階級の反逆者である。これらの主義者は勞働階級の怨敵であるから手嚴しく打懲し彼等とは何事に對しても絕体に妥協を許されぬ。「議會を倒せ、サウエット實權萬歲」之が吾々の旗幟でなければならぬ。

然らば次ぎの如うな質問をさる、かも知れない現下のブルジョア議會の權限の否定を認めるが、眞の普選を基礎とする議會に對してはどうかと。

それに對する回答はかうだ。社會主義革命に於ける鬪爭は極端に猛烈である故に、勞働階級はその權力組織の內部に、階級の敵の參加を許さずに速時、決定的に實行に入らねばならぬ。

然らば又何故にブルジョア議會を利用す可きやと質義されるであらうが、この問題は前記のそれとは合理的關係が全くない。如何となれば、その組織に喰込んで、利用しながら議會を破壞し得るものであるからである。嘗てボリセヴイキ議員は議員の特權と違法行爲を利用しながらツアリズムを襲擊す可き大衆を組織した。かくの如き議會行爲は露國に於てのみあつたことでない。之を獨逸

東167802
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に例せば、リイブクニヒトの仕事に依つて見ても証明される。彼は實に模範的な革命家であつた。プロシヤ議會の壇上からプロシヤ兵をしてその議會に反抗せしめた行爲は立派な革命行爲ではなかつたらうか。リブクニヒトが議員でなかつたら、かゝる活動が出來得なかつたらうし又彼の演説があれ程まで効果がなかつたかも知れぬ』といふ意味の言葉をジイノヴイエフは議會政畧とサウエットへの闘爭の中で言つてゐる。

又第三インターナショナルの闘士ラデックは議會利用政策の非難に對して次ぎのやうに言ふ。『吾人は議會政策は有益より無益に長じてゐることを是認せざるを得ない。無政府主義者やサンヂカリストは吾々の説を誤謬となし、第二インターナショナルの破産は明かに議會政策の腐敗に起因するものと見做して居るが、それは正當でない、事實が証明してゐる。

そう言ふジユオ、コルネリセン、クロポトキンはシヤイデマン、レギエンと同様主義を裏切つたものではないか。インターナショナルの破産を誘致した原因は一八九〇年以後の勞働運動が革命的でなく又革命的闘爭を導かうとも導きもしない結果、戰爭を阻止するには何等の勢力がなかつた、議會の日和見主義者が改良によつて解決さるゝものと思込んだ無難な時代の産物である。(ラデック議會政策と革命)

扨て事實問題として茲に第二回大會に於ける議會政策に關する意見書の一部をあげて第三インターナショナルの立場を窺ふことにする。

共産主義は將來の政治の形式として議會を認めない。唯ブルジョア議會を破壞する方法を考究するのみである。(第七項)

對資本戰に於て指導者の立場となる無産階級は法律の許す限り凡ゆる地位に喰込み以て反抗の中心とならせねばならぬ。(第一一項)

例へば「ブルジョア」議會の演壇はその反抗中心の一つである。共産黨はブルジョア政府及議會の顚覆を計るために彼等の議會に入らねばならぬ。(第一二項)

共産黨は議會の壇上より　の煽動をなし以て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

政敵の假面を剝ぎ取らねばならぬ。而してその煽動は院外の大衆運動と步調をとらねばならぬ（第一四項）

選擧に際しては議席そのものを爭はず大衆を無產階級革命のために動員しその機關組織を活用すること。（第一五項）

斯くの如く共產黨の議員は議會乘取りが主旨でないのであるからその中央委員會の命令に絕体に服從し、黨の指揮を奉ぜぬ者は除名される。而して院内共產團の他の政黨と最も異る點は、議會に於て常に革命的態度を維持し規則に背反することを敢て辭せず議員の特權を利用してする運動にも參與することである。

約言すれば莫斯科第三インターナショナル第二回大會に於て採決した議會政策は改革的議會主義及び、反議會主義に對する革命過渡期に於ける議會利用策である。

（二一、一一、一八）

女工の群

洋　文

女工達が工場から歸る時
廣い原つぱをとぼ〳〵歸る時
私の心はいつも寂しい

女工達は
群がり群がり通るけれ共
何も言はない
顏もあげない
たゞ頂垂れて通る

原つぱの草は暑さにいきれて蒼く
女工達の顏も蒼く
空も蒼く
土も蒼く
あゝそして私の心は限りなく寂しい

（六、七、一四我孫子行の列車にて）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

チエホフの『農人』から（二）

金子洋文

▽

『ニコライは絶間のない騷ぎや、飢餓や、惡嗅や煙やがもうつく〴〵厭になつた、こんな貧乏を心から憎まずにゐられなかつた、自分の女房や子供の前に兩親のことが恥しかつた、彼は煖爐の上で足をわな〳〵させ乍ら苛々した涙聲で母親に言つた。

『お母さん、あれを打つなあ（子供のこと）やめて下さい、何もあれを打つッて法はない』『お前さんなんざ默つて煖爐の上に轉がつてりや好いんだくたばり損ひ奴！』と、フョークラは意地惡く彼に向つて叫んだ『お前さん達を家に連れて來たのは惡魔の仕業だ、居候！』

　これが人間の言つた言葉なのだ、神樣が作られたといふ、良心を持つた、美を知つてる筈の人間の言つた言葉なのだ。更らに驚くことは病を持つた兄に對する弟嫁の言葉なのだ、これこそ、立派な惡魔だ……だが、さう憎惡する前に吾々はこの恐しい女の言葉を今一度正面から正視しなければならない、そして更らに外皮を引破つてこの言葉の底にある本當の姿を見出されなければならない

　この恐しい言葉は、たゞ一人の貪慾な女の言葉であらうか、いや、決してさうではない、それはあまりに恐しい程正直な、普遍的な言葉なのだ、換言すれば總てのプロレタリアンが心の底に持つてゐる言葉なのだ、言ひ出したくとも言ひ出せない言葉なのだ、それをフョークラが正直に發表したに過ぎないのだ。

　かうした、不幸な境遇にある人々に對して今日の倫理道德が何等の權威がないのは當然である。今日の倫理學者の頭には喰ふといふ非常に高尙な嚴肅な事柄が全く無視されてゐる、一錢の金と十の正直とが區別する事が出來ないまでに、無差別になつてゐる現代人の生活が解らない、だから彼等はいつでも淸潔な家屋と、淸潔な衣服を着た人間達の味方で、貧しい不潔な、不秩序な、プロレタリアンの敵となるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少なく共今日のプロレタリアンは善人でも惡人でもない、たゞ不幸なだけだ、恐しく不幸なだけだ、自分の兄弟が病氣にかゝつた時、『早く癒つてくれ、早く死んでくれ』と、一所に祈らなければならない程、恐しく不幸なのだ。

では、吾々は、フォークラの恐しい言葉からうけた生々しい憎惡の感情を何處へ持つて行くといゝのだらう、我々の心の内に引込めるのか、それとも、その憎惡を當然受けべき何物かに贈呈するのか、さうだ、確かに何物かに、確かに何物かに贈呈しなければならないのだ。

▽

『祖母は神を信じてゐた、が、それは非常に漠然とした信仰からであつた、彼女の心中には色々なことが混亂して、罪惡や、死や、魂の救ひやに就いてぢつと考へてゐることが出來なかつた、いつか貧乏や饑餓やその日〳〵の出來事に心が奪はれて神樣のことは直ぐ忘れて了ふのであつた。』

そして彼女は子供をごなりつける、毆る、そして誰が一番スープを吸つたか、誰が餘計に靑鯡を食べたかを初終監視しなければならなかつたのである。

さうだ、總ての人の信じてゐた吾々の神は、最早我々の神ではなくなつたのだ、吾々の神は貧乏な御馳走と汚ない家に顏をそむけてとうに逃げて行つてしまつたのだ、では何處へ逃げて行つたのだ、フォークラは恁う答へるであらう。

『神樣はこんな汚ない小舍にゐらつしやるものか皆金持の所へ行つちやつたのさ、あすこには石炭はどん〳〵燃えてゐるし、暖かい、美味しい御馳走がごつさりあるからな、今ぢや、あの優しいタンクロスのお爺さんだつて貧乏人の所なんかへ來やしないよ、チエッ、誰が神さまなんか信ずるものか。』

キリストは吾々に恁う敎へた、富める者は天國に來る事は出來ない、それは駱駝が針の穴をくゞるよりむづかしいと、だが、今では富める者だけが、吾々の神樣を持つてゐるのだ、貧しき者は何から何まで一切を奪はれてしまつたのだ、そして疫病や、不幸や、憎惡などをごつさりさづけられ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てしまつたのだ。

かう言ふと、或る人はそりや君の偏見だと笑ふかも知れぬ、神はそんなものではない、だが待つてくれ、それは僕にもよく解つてゐる、だから、吾々はその本當の神を、見つけ樣としてゐるのだ君は何うすれば、吾々の神が吾々の懐に歸つてくると思ふのか、それは一切の奪はれたものを奪ひかへすことだ、一切の權力を打破することだ、その時吾々は初めて自由な個に歸ることが出來る、自由な、自由な我に歸ることが出來る、そして吾々は初めて一切を平等に所有することが出來るのだ。

（二一—一一—一五）

この位のことは、あたりまへだ

小牧

その後一兵卒の氣が狂つた
『居ないよ　居ないよ　一人も居ない』
靴の穴をのぞいて狂人の一兵卒が手を振る
『居るぞ　居るぞ　しーつ　大勢ゐらあ』
鍵の穴をのぞいて狂人の一兵卒が合圖する
惡いと知りながら　人を殺した
一兵卒の氣が狂つた
事件(コト)のおこりは　最近ある半島で
某軍國の兵卒約三十名が一部落を襲つた
『あまり慘いことはするな』と命ぜられたが
その時は明かに動物でゐた
無抵抗の村民は面白い程
見る間にやつつけられた
殺さるゝまゝにと云つてもいゝ
『むごたらしい屍体を曝らしてたくさ
あとが厄介だ　片つけろ』
と上官が命じた
『燒いちまう』と一兵卒が發議した
それから大人　小供　老人　女
屍体は荷物のやうに野原に運ばれた
石油(アブラ)をかけて燒いて見たが
手は手　足は足　ばらばらに散ばつた
そして　人間の臭氣が空氣と　とけなかつた
これが軍國主義で有名な
某國除隊兵の實見談だ
『この位のことは　あたりまへだ』と
彼は平氣で語つた
當然！
それは餘りに恐しい當然だ（二一—一二—一三）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理想に生きる者

今野賢三

『私は主から一時でもお離れ申してゐるのが淋しう御座います』とマリヤが云つた。

『淋しいのはあなたばかりではない』とイエスが云つた。此のたゞ一言だけでも私はたまらなくなる。涙で胸が裂かれるやうな氣がする。

『永世を持つたイエスは、私が死んだ後にあなたに遣はされて、いつまでもあなたの伴侶となるだらう……あなたの心には愛が滿ちてゐる。だから私の云ふ事がおぼろげながら分るのだ。けれども私の弟子達の心はこの世の事の爲めに煩はされて昏らんでゐる……』

笛を吹いてもお前達は踊らない――と云つたイエスの淋しい、悲しい心持は、マリヤばかりではない、私にもハツキリ解る。ハツキリ鏡に映されたやうに解る。

主は本當に孤獨な淋しい方でいらつしやいます』とマリヤが云つた。

『孤獨ではない。天の父は常に私と共にいますのだ。而してあなたが私には與へられてゐる』とイエスがこたへた。

此の世の事に煩はされて昏んでゐる弟子達には、イエスの心は解らないで、單純な愛にのみ生きてゐる、マクダラのマリヤには、イエスの行く道が、言葉以外の言葉で完全に語られてゐる。そしてイエスは、マリヤたつた一人に、あまりの淋しさから、鋭く、ねぢけ、とがつてゆかうとするこころを、やわらげることが出來たのだ。現實にも生きなければならないイエスは、（人として）マリヤを見出したことに依つて、その魂に安らかに眠ることが出來たのだ。マリヤの魂に、自分を見出すことが出來たればこそ、『ゲヘナの谷間を通つて死の國』へ行くにも、一切を失つて一切を得る微笑みがあつたに違ひない。

イエスが若し、マクダラのマリヤを見出さなかつたらどうであらう。狂はしいばかりの淋しさと悲しさを、嚙み込み、嚙み込むやうにじつと壓さへて、眼を瞑るイエスの姿を、眼のあたり描き出す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てゐる人達の幸福さうな顏を見よ。巧妙にごまかすことに依つて、つねに飽滿だ。彼等は性慾を滿たさうと思ひば、異性の運命などは考へてゐない。人間性のうごきのまゝに、彼等はうごき、彼等は走る。純潔――は彼等の玩具だ。正直で、なによりも善良な人間は何時でも彼等の馬の足であり汗みどろに、血みどろになつてゐながら何時までも不幸だ。

弱い私の心の一面は、つねにまどわされる。さうだ。性がはげしく眼覺めて、飽滿を叫ぶ時、私の良心は囁く。『戀愛の成熟に飽滿を求むべきだ』と――。若し、戀する對手もなく、戀されてもゐなかつたら、私はどうすればいゝのだらう。

理想を捨てよと惡魔は囁く。さうすると速坐に幸福になれると囁く。その誘惑にしたがつて、理想の衣をかなぐり捨てたならばどうなるか。私は最も冷やかに考へて、私自身として、決して幸福になれないことに氣がついた。なぜなれば、私の兩面は、滿たされないからだ。私の良心が、やつぱり、どこまで行つても理想を叫ぶであらう。片

さへ、私はたまらなくなる。

イエスが人として私共の胸に觸れるからこそ、イエスの言葉に權威を見出す。人が人として考へられない神の世界は、私共に更に交渉がない筈だ

私は今、イエスとマリヤの會話を有島さんの『聖餐』から引いた。そして理想と現實に立つてゐる自分の姿を見ながら常に考へさせられてゐることを明らかにしようとするのだ。

私ばかりではない。眞實に生きようとする私の最も愛する友は、皆この惱みを抱いて狂はしい思ひをしてゐる筈だ。

私は、イエスの靴の紐を解くにも足らないものであることは知つてゐる。が、私は人生の眞實に立たうとして、つねに孤獨を凝視めて來たものだ私の描く理想の世界は、掴むことの出來ない幻影でなければならなかつた。

私の身内に、生きんとする叫びを不斷にあげてやまない、『人間性』は、私に唾をひつかけるやうに、幻影をかなぐり捨てよと罵る。そして私を現實の泥土に引下さうとする。現實に妥協して生き

足現實に突込めば、片足はどこまでも理想の岩に立たうとするだらう。私自身を僞ることが出來ないとしたならば、永久に私自身でなければならない。私は現實に眼くらんで、幻影の價値を知らなかつた。幻影に現實を見出すことをしなかつた。幻影にも、飽滿があることを考へ及ばなかつた。淋しければこそ私は在る。惱めばこそ私は在る。幻影を現實にしようともがくところに、私は嚴として在る。目標があるからだ。光りがあるからだ。刹那を追ふてゐる現實主義者の、何と飽氣ない存在だらう。私自身であることが、うごかすことの出來ない、生命の尊い叫びであらねばならぬ。

若き農夫よ

ようぶん

若き農夫よ
お前の歩きつ振りが氣に入つた
兩肩を擴くして
手を前後に大きく振つて……
畑はごし〳〵と埋まる
お前が立止つて物を見る時
お前は宇宙の樣に大きく重い
小さい人間がぶつかつてきても
お前はビクとも動きさうもない
お前の眼は何を見てゐる
それは眞理だ
お丶何といふ深々しい眼だらう
お丶その眼から
今に太陽が燃え出して
新らしき世界が生れるのだ。

（六、七、一五　列車中にて）

石川啄木

こそ〳〵の話がやがて高くなり
ピストル鳴りて人生終る。
頬に傳ふ涙のごはず一握の
砂を示しし人を忘れず。
我ににし友の二人よ一人は死に
一人は牢をいでゝ今病む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貧乏人の涙

赤毛布

それから四日ばかり經つて、この手紙が着いてゐる。

手紙の二

Mさん！

今月島の月をみて、歸つたばかりです。あの海原から昇つてくる月をみてゐても、きらびやかな深川の街の灯をみても今の私にはたゞ淋しさをそゝるだけです。此世に私だけが淋しいのかと思はれるのです失業がこんなにまで私の何もかもを奪つて了ふのかと實に恐ろしい。働き得る身体をもつて働かれない食ひたい口をもつて食はれない。これでも『俺は一個の人間だ』と叫び得るでせうか。食はれる口があれば先づ働く。先づ働う。さうだ、働いて食ふのが眞理にちがひない。働いたら生きられるのも眞理だ。さうでせう。

今晩は少し感傷的になつてるせいかそゞろに亡くなつた父の事や兄達の事が思慕れてなりません、先日の手紙でまだつきぬ思ひを書ける丈けつゞけます。私は不幸に育ちました。私の不幸は例外かもしれません。此例外の不幸を取立て、御約束とはいひ、何故あなたへの資料に書かねばならぬかと思はれるでせう。然し現在にも貧乏の爲めに私と類似の不幸をなめねばならぬ多くの人々へ此一例を示したなら必ず同じく感じ深く考へて呉れることを信ずるからです。私は貧乏でいぢけてゐたとはいひ子供ですもの夏は川の兒、冬は雪の兒と丸で犬の子の樣によく遊びました。私には人並に凧やスケートが買へなくつてもそれでも自分にどうかして工夫して出來る樣になりました。長い間の吹雪に狂うて頑固に閉された灰色の空が拂はれて暖かい太陽がほゝ笑み出すと紙をはぐ樣に汚れた雪が目にみゑて消ゑて行きます。

近い山々が秋のまんまの姿になつて露れ、家々の屋根から立のぼる水蒸氣や軒からたちる温かさうな水滴をみると今年こそは一切の不幸が取拂はれた樣に人々は晴々した心持ちになつてくるのです。やがて土が露はれだして國道が乾く樣になると子供も大人もほんとうに春がきたといふ抑へ難い歡嬉は何といつて言ひ表しませう。北國に住む人の誰もが體驗することですが若し人間が皆平等の生活をしてゐたらこんな時にはきつと一緒に躍り出すだらうと思はれます。あなたも此んな時には、村の子供等が手をとつて、躍り狂うだらうと思はれるでせう。自然が公平に廻りきても夢中に遊ぶ子供仲間にも恐るべき階級の隔りがあつたのです。

親方衆の子がもつてるコマを欲しい／＼と幾春か希つたことでせう。或冬の正月でした長兄のゐる親方の祝ひに招ばれたことがありました。その晩私の兄とそこの子と私の三人が

　　實熟るか、ならねか、
　　ならねば、きる　ぞ、

慿う二度づゝ歌つて、屋根下の果樹に一本一本山刀打ちをしてまじないに廻りました。秋の悲しい誘惑を思ひ乍もやつぱり私は友達の果樹によく實のなることを心から希ひました。私は家へかへつてから橋の上に立つて先こくの歌と節とをそのまゝ

　　なるか、　ならねか、　ならねばきるぞ、

と一人で歌ひました。丁度その時に鐵橋の方から月が昇つてきました。黄色い片割れの月が凍ねた樣に山の端を離れていくのをみてゐると何とはなしに、寂しさに堪ね切れなく獨りでに泪がたちてきました此時の月の色が丁度今晩みたのに似てゐました。天氣のいゝ時分は父に伴はれて漁に行く樣になつてからは私の淋しさはすつかり失せました。

ぼか／＼と春日のうらゝかな日曜には二人であの廣いH湖上へ舟を浮べました。木の葉の樣な川舟があ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つちにもこつちにも浮んでゐます。鴫の群が雲の様に遠くをとんでゐます。ぴち〳〵躍ごる小魚を漁ることのたのしさは誰にも味ひ得ない事でせう。こんな平和の春を幾つか送つた或年に突然國中に沸きかへる大暴風が起たのです。私が丁度十二歳の時でした。長兄が入營してゐた聯隊が野戰隊として出征することになつたのです。村中が上を下への騒ぎです。學校では毎日戰爭の話です。ロシヤが日本を捕りにきたから我慢がし切れなく戰爭するのだと誰もかも言ひ囃します。私はその時まで戰爭は人を殺すものでも殺されるものでもないと思つてゐました。なぜつて子供達が戰爭ごつこをする時には誰か怪我人があるときつと戰ひをやめたものでした。我等は毎日夜の二三時頃手に手に灯を持つて「進め矢彈の雨の中……」と恁う歌ひ乍ら出征軍人を送りました。あの時の長兄の顔！血走つたあの目。今では半狂亂の人としか思はれません。もう云はずもあなたは當時の事を思ひ出されませう。『母は生きてかへる様に』と人毎に祈つて貰ひました。或日役場の人がきて『自分の息子が國家のために戰死するのは親の名譽ぢやないか。それを生きてかへることを祈る不忠の親がどこにあるか！』といふ意味の事をいつて叱られさうです。それからは毎夜床の中で泣き悲しんで『死なぬ様に』と念じてゐました。此の頃私は母に連れられて方々の神詣りに歩いたものです。役場の人が何といつても軍人の子を持つ親の心は同じ事、どこから流行したことか千人の針糸を胴巻きに縫ひ込むと千人の心願がその人を守つて戰死しないといふことで方々の村からも其胴巻ぬいが戸毎に廻り歩きました。

國家といふものを、眞に理解して其子を戰地に送つた親は幾人あつたでせうか。戰はねばならぬ理由を知つて戰つた兵卒が幾人あつたでせうか。すぬことが名譽と思つて死んだ人が幾人あつたでせうか。私の兄は此の時戰死したのです。母の狂亂の狀はあなたも察して下さるでせう。どうして「名譽」だの「忠勇」だのを思ふ餘地がありませう『神も佛もあるものか、息子を返せ〳〵』といつて毎夜泣き叫びました。

『お上へ人身供養に上げた様なものだ、あきらめろ』といつて父は慰めつゞけました。私の不幸はこゝから發します。今迄貧しくとも明かつた家の中が日に〳〵暗くなつて行く様な氣がされました。母が時々床につく様な事があつて家計がいよ〳〵困難になつてきました。遺骨が到着して村から葬式をだして貰ふ迄は近所の人が毎日慰めにきてくれましたが誰一人『死んでよかつた、名譽だなど丶』言ふ人がありませんでした。其中にしつきりなしに戰勝の報が傳つて學校では授業を休んで出征の見送りや戰捷の祝ひに浸りました。こんなことはあなたも經驗なされたことですから書きますまい。戰死者や負傷者が村の中にも隣の村にも日に〳〵增ゑてきました。勝利の喜びよりも悲しみの影が人々の心をどんなにおびやかしたことでせう。『こゝはお國を何百里』とあの歌をきくと今でも當時の氣持ちがはつきり浮んできます。

今の青年は元氣がないの、愛國心がないのと云はれてもこんな悲みの中に育つた子供がどうしてそんなに容易く御調子にのることが出來ませうか。深く考へさせる様に生ひ立つた青年に盲從を強ゐることは無理です。

働き盛りの長男を喪つた父は今までより以上危險を犯して冬網の漁にでました。氣丈だとはいひ幾分喪心した父には不漁の日が多かつたのです。吹雪に追ひ込められたり、氷がはなれて歸られなかつたり幾度も〳〵命拾ひをした事をよくきかされました。恐しい職業だ。こんな慘酷な漁をしなければ生きて行けなかつたのか。私が親方の家へ潟魚を届ける事がありました。そんな時には親方の家では大きな爐へ鍛冶屋の様に炭火をおこして家中の人が暖かさうに樂しさうに笑つてゐました。

あの人等が美味しく食ふ魚は私の父があんなに恐しい難儀を犯して捕つてきたものでした。それから私には不思議に考へさせられたことでした。金のあるものは誰れでも其魚を買ひ得ることより外に理屈のないことを、私は深い因果に運命的な神祕がある様に考へたものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春も近いある日私の村には又恐しいことができました。短い冬日の黒ずんで行く頃氷が割れて三十人ばかり流されたといふ急報が來ました。近所の人や百姓等は焚火や炊出しの用意をして我も〳〵と潟の方へ救助にとびました。私も母と大勢の女達と村端れに立つて潟畔の方へ遠ざかつて行く提燈を見送つてゐました。提燈の灯がいくつもあとから〳〵續いて行きました。其數が增ゑる毎に人々は聲をあげて暗い不安を打ち消さうと力めました。先きに行つた燈火が見ゑなくなるともう安心した樣にかへつた人もありました。然し貧乏人の此群はたゞ〳〵不安に震いてる丈けでした。私の父が半死の樣になつて擔ぎ込まれたのがもう夜明でした。此の時三人ばかり凍死したのです。父はそれからはもう昔の勝氣な元氣がなくなりました。次兄が見兼ねて遂々北海道の漁場へ身をうつて、さうです、身をうつて稼ぎに出たのです。

それから先はもうかくのが嫌になりました。此物語の結末を早く急ぎます。兄が難船してカムチヤツカで死にました。父も母もそれが爲に狂人の樣になつて父は間もなくそれが原因で病死したのです。私が東京へ出てくるまではあなたがすでに御承知のことゝ私がどんなに貧乏を憎み漁を怖れ百姓を厭つたかはよく御察しのつくことでせう。私はこんな漁師や百姓をしなくても勉强さゑしたら必ず金儲はできる金さゑもつたら必ず親方の生活ができる、せめて一人の母親でも老後安樂に生活させたいとどんなに〳〵念じたことでせう。然し勉强ができたでせうか。私は村の開墾事業の書記に雇はれて母を養つてゐましたが、私の反抗と野心と復仇心とは遂々あなたに結びつける機を造つたのです。

只一人の母を殘して旅立つた私の意氣も、今ではやつぱり職工になるより途がない。此先き私はどうなることでせうか。そして母は。我々は此世から此まゝ消ゑても、Mさん私は信じます『働かざるものは食ふべからず』といふ眞理が必ず實現せられることを。私はもう少し云ひたいことは私の小さい時と現在とは漁業方法も耕作も進歩して種々の機械の發明に依つてあゝ自然を征服することができてきたので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。

機械が發明されぬ中は貧乏人は自然に對して喜怒哀樂を共にし自然に對して團結してゐたのです。機械の依用に依つて樂になるべき人々の生活が却つて苦しくなつてきたのです貧富の隔りが機械のために一層甚だしくなるといふ事は何といふ皮肉でせう矛盾でせう。生活が壓迫されてる中はその壓迫するものを究めなければなりません。壓迫が激しければ激しい程團結を固めてそれに當らなければならないと思ひます。狂暴なあの自然に對して相互に相助合ふ貧乏人の悲痛な協力共心を思つて下さい。自然に代る壓迫者に對して我々は默して運命を甘受すべきでせうか。

何れ御面接の時に種々伺ひたいことがあります。

御大切に　お休みなさい。

×月××日　　Sより

M様

（了）

巴里より　——十二月九日——

今日C・G・T（佛國勞働總同盟）の本部でマルセル・ロランと愉快な日を持つた、ロランが君の住所を聞いて居た、C・G・Tは會員二百萬になつたさうだ、大した勢だ、英獨の組合と違つて賃銀や時間問題は殆ど論じない、もつと根本的な世界的な問題を捉へて之を求めるのだと云つてゐる、今の所では第一は浸害地の回復、第二は鐵道鑛山及水力の國有、及勞働者の管理が最も重な題目らしい、社會革命を怖れてゐる人もあるが………伊太利のはもつと進んで居るかも知れぬ、又もつと進んで行くのが人情の自然かも知れない…（Y生）

斷章　　ユージ

太陽は眞紅だ
私の胸も
大空は眞蒼だ
海のやうに
たゝ、そして、私の姿は風だ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

5861
2144
v.1
no.2

大正十年三月十三日印刷
大正十年三月十五日發行（毎月一回）第一卷第二號

CAHIERS IDEALISTES DES JEUNES

種蒔く人

自分は農夫のなかの農夫だ。
自分の綱領は勞働である。
——ミレー——

第二號

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯後記

初號の發行の遲れたことは、ずゐぶん濟まないことに思つてゐます。けれども兎に角どうにかかうにか、發行することが出來て、いさゝかホッとした氣持です。やうやく、赤兒が產れたゞけなのですから、種々な點に就て、恥しくも思ひ、意に充たない點も少くないのですが、號を追ふにしたがつてなほして行きたく思ひます。

第一號は印刷部數が少かつたので、充分皆さんの手に渡らなかつたのですが、二號以下は印刷部數も多いのですから、一人でも多く讀者を得るやうに盡力してほしく思ひます。三號からは、內容も体裁もぐつと違つたものにしたい考へです。

それから、加賀谷竹治郎君が、本社の基金を寄附されたことは感謝にたへません。

讀者のうちから、眞摯な對度でものされた作品の寄稿は歡迎しますが、揭載に就ての選定は編輯者同人に一任されてほしく思ひます。

大正十年三月十三日印刷
大正十年三月十五日發行　（第一卷 第二號）

東京市赤坂區青山北町一丁目八番地
編輯兼發行人　近江谷駒

秋田縣南秋田郡土崎港清水町八九
印刷人　寺內林治

秋田縣南秋田郡土崎港清水町八九
印刷所　寺林印刷所

東京市赤坂區青山北町一丁目八番地
發行所　種蒔き社

（定價二十錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA